

当研究所で保有している直流単式電弧溶接機（PD-A）が、重要科学技術史資料（愛称: 未来技術遺産）に登録されました。

未来技術遺産とは、科学技術史資料のうち、「科学技術の発達上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つもの」や「国民生活、経済、社会、文化の在り方に顕著な影響を与えたもの」に該当する資料として認められたものです。

本機は国産化最初期の電動発電機式直流アーク溶接電源であり、現存が確認される最古級の国産アーク溶接電源です。

我が国におけるアーク溶接技術の歩みを示す資料として重要であると評価され、今回の登録に至りました。

9月13日（火）に国立科学博物館で開催された授与式には田中所長が出席し、登録証と記念盾の授与がなされました。国立科学博物館 上野本館の1階では今回登録された資料が9月13日（火）から25日（日）までパネル展示されており、入場された方は自由にご覧いただくことができるようになっています（https://sts.kahaku.go.jp/event/2022/ft_panel15/）。

